

旭川でごみ回収

9月22日にグリーンパトナーおみやまの河川ごみ回収が行われました。旭川大橋の中区側の河川敷での活動でした。

十数人の超党派の議員が参加し、グリーンパトナーおみやまのスタッフと水際のごみを拾い、分別しました。

回収、分別、計測で1時間ほどの取り組みでした。

15分間の回収でペットボトル3.5kg、レジ袋・プラ7kgなど、合計45.2kgが集められました。

封が切られていない詰め替え洗剤や新品の缶入り飲料もありました。

バーベキューで出たと思われるごみもありました。

参加者がウォーキングや犬の散歩では立ち入らない背の高い草むらに分けて回収しました。

身近でありながら目に付きにくいところに多量のごみがありました。

放置されれば、やがて船を出さないと回収できない島や海底に流されてしまいます。

海ごみの削減にはコストの点からも陸上と河川での取り組みが重要です。

林じゅん議員は、これまでも海ごみ回収に参加したり、議会で対策を取り上げたりしてきました。



川原の草むらから回収

特にプラスチックごみが課題です。

引き続き現場を見ながら市政の課題として取り組んでいきます。



岡山ドーム前のテント村

街中でのテント泊

8月22〜23日に掛けて都市の森ギャザリングが開催されました。

会場は岡山市西部総合公園（仮称）の岡山ドーム前の芝生でした。

主催したのは岡山西部総合公園（仮称）活用準備会、岡山市、運営・企画はくらしのたね、自然食コタン、KAMPです。

音楽ステージや映画上映があり、飲食ブースで飲んだり食べたりして、持参のテントで泊まるというものです。

ドーム前にテント村が

できていました。

新型コロナウイルス禍でも集まろうと工夫されていきました。近場の公園で、食べ物はテイクアウトというキャンプは手軽で楽しそうでした。

8月でも広い芝生の上は風が吹くと過ごしやすいため温度でしたが、アスファルトの駐車場に行くと午後7時頃もむっとする暑さでした。芝生の効果を実感しました。

夕方ピクニックの人たちは夜には帰り、泊まる人たちが残っていました。大学生の頃、公園でテント泊をしながら自転車旅行をしていて、ラジオ体操に集まった子どもたち「何をしているのか」と注目されたことを思い出しました。

岡山市から

核廃絶を

8月6日に岡山市原爆被爆者会の慰霊祭に東つよし市議とともに参列し

ました。

被爆者会の会長が挨拶の中で、唯一の戦争被爆国の日本政府は核兵器禁止条約を批准すべきだと訴えていました。

岡山市議会は、政府に核兵器禁止条約の批准を求める陳情を不採択にしています。

採択して、岡山市からも核廃絶に向けた意思表示をすべきでした。

児島湾のノリ対策

都市・環境委員会、児島湾のノリの色落ち対策として、冬期に下水処理場の放流水の窒素とリンを増やす季節別管理運転について報告がありました。岡東浄化センターで2018年度から導入されているものです。

兵庫県などの先行事例で期待できるとのことですが、効果の検証は単位数でなくてはならず、時間が要りそうです。